

# 学校関係者評価報告

令和6年度の学校関係者評価委員会を開催し、「令和5年度 青山建築デザイン・医療事務  
専門学校 の自己点検・自己評価」をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

学校関係者評価委員会開催日：令和6年5月25日（土）

学校関係者評価委員：

1. 井野 雄介 医療法人社団親寿会 池永クリニック事務長
2. 白田 智樹 白田建築事務所 主宰
3. 本間 純子 (有)アリエルプラン・インテリア設計室 取締役
4. 中川 都代子 医療事務学科2年 保護者
5. 岡村 亜弥 平成24年3月診療情報管理士専攻科 卒業

青山建築デザイン・医療事務専門学校

林校長、高林副校長、加藤広報部部長、  
矢野教務部部長、山本教務部課長、武川教務部課長

# 令和5年度 自己点検・自己評価・学校関係者評価

青山建築デザイン・医療事務専門学校

1 教育理念・目標	自己点検・評価
(1) 理念・目的・育成人材像	
<p>1) 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)</p> <p>本校の教育方針は「本校は、学校教育法第124条及び125条に基づく専修学校として、本校設置課程の工業分野では、建築の設計・監理・デザイン・施工、商業実務分野では、医療事務・診療情報管理の専門知識・技術を習得させ、自主的精神に充ちた学生の育成を目的とする。」</p>	<p>【点検評価】</p> <p>教育方針について令和4年度一部を修正した。今後も産業界の変革等に適合させて行きたい。また、令和5年度も例年同様にHPや学生便覧にて学外や学生に対しても公開している。</p>
<p>2) 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公開しているか</p> <p>本校においては上記の教育方針の他、校訓、教育目標、さらに年度毎に経営方針が設定されている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>学外や学生その他、本校教職員に対しても、4月7日の入学式と同日に開催された新年度連絡会にて非常勤講師も含め、教職員に周知されている。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>特になし</p>	

2 学校運営	自己点検・評価
(1) 事業計画	
<p>1) 運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか</p> <p>例年2月末頃までに各部にて次年度の事業計画案を策定し、3月開催の定例理事会評議員会で次年度の予算と共に審議している。また、承認された事業計画は事業報告と共にHPにて公開している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和5年度は事業計画どおりの事業活動や教育活動を行うことができた。</p>
<p>2) 学校の年間スケジュールはあるか</p> <p>学則・教務規定やその他の規定にもとづき、年間行事予定表を策定している。学生便覧への掲載やHPにも公開している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和5年度は例年通り策定し、教職員・学生・保護者等と共有できた。</p>

<b>(2) 運営組織</b>	
<b>1) 組織機能図があるか</b> 出来るだけ早い段階で次年度の組織図を教職員に対して提示するようにしている。また、毎年学生便覧に掲載している。	<b>【点検評価】</b> 令和6年度は組織図の一部が変更となるため、令和5年は10月18日の教職員会議にて提示し、次年度の準備(引継ぎ等)を開始した。
<b>2) 運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか</b> 原則月2回の校務運営会議と教職員会議を実施している。教職員会議では担任よりクラス状況や個別状況についての報告がある。また、月1回の教職員会議には理事長が出席している。会議日程は年度初めに年間スケジュールとして提示している。	<b>【点検評価】</b> 令和5年度は相談会参加のため、一部日程変更があったが、予定通り実施することができた。
<b>(3) 教職員の評価・育成</b>	
<b>1) 授業評価の実施・評価体制はあるか</b> 授業評価は、前期終了前に学生による授業改善アンケートを実施し、その評価内容を各科目の担当教員と共有して、次年度の授業改善に活用している。	<b>【点検評価】</b> 8月に実施し、各科目の担当教員はアンケート結果を次年度の授業改善に活用した。
<b>2) 教員の能力開発のための研修等がおこなわれているか</b> 学内で、非常勤講師も含めた「学生に対する指導力を修得・向上するための研修」と、建築と医療事務の各専門分野における研修を行っている。また、北海道私立専修学校各種学校連合会が主催する「職業実践専門課程に係る研修会」についても参加している。	<b>【点検評価】</b> 「学生に対する指導力を修得・向上するための研修」は、心理カウンセラーの方を講師として招き、6月に実施した。建築系の専門分野における研修は令和6年1月に、医療事務分野の研修は7月にそれぞれ実施した。「職業実践専門課程に係る研修会」は8月と12月に開講され、全教員が参加し、それぞれの能力の開発に努めた。
<b>(4) 人事・給与制度</b>	
<b>1) 人事に関する制度を整備しているか</b> 就業規則・非常勤教職員就業規則等は整備されている。	<b>【点検評価】</b> 関連法令の改定に伴い、令和5年4月1日に改正し、関係諸機関に届け出した、
<b>2) 給与に関する制度を整備しているか</b> 給与規定・退職金規定等は整備されている。	<b>【点検評価】</b> 関連法令の改定に伴い、令和5年4月1日に改正し、関係諸機関に届け出した、
<b>【委員会の意見等】</b> 委員：「職業実践専門課程に係る研修会」では、具体的にどのような内容の研修なのか？ 学校：多種にわたる分野の専門の方が講師となって毎回学生の指導力向上や専門学校で必要な知識等の 習得を行う。 職業実践専門課程に認定されている学科は全て研修が必須となっている。	

3 教育活動	自己点検・評価
<b>(1) 教育方法・評価等</b>	
<p><b>1) 講義および実習に関するシラバスは作成されているか</b></p> <p>年度末までに、各科目の担当教員が次年度のシラバスを作成して、教務部で確認後にホームページで公開している。また、実務経験を有する教員が担当する科目については、「実務経験の生かし方」を明記し、授業の中でそれをどのように生かすかを記載している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>学生には、授業の初回で授業運営進度計画表を提示し、各シラバスについてはホームページで公開している。公開は5月となったので、次年度は4月初旬の公開を目指す。</p>
<p><b>2) 少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見直しを行っているか</b></p> <p>上記について、各科目の担当教員が授業の質の向上を目指して、適宜変更や見直しを行っている。教科編成の大きな変更としては、建築系学科において2年次後期、週1コマの「建築BIM演習」を開講した。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>現状では、必要に応じての見直しとなっている。教科書や教材については、学生の経済的な負担を減らすために、内容が適切かつ価格の安いものを採用したい。</p>
<p><b>3) 企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか</b></p> <p>建築系の学科では、企業から頂いたインターンシップの案内を教室に掲示して、参加を促している。医療事務学科2年生は5月下旬から6月中旬までの3週間に病院実習を行い、現場での体験を踏まえての知識の向上を図っている。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>建築系の学科では、総合建設業に10名、住宅関連に13名 設計事務所に6名、建材メーカーに1名、設備工事に1名の学生がインターンシップに参加した。病院実習は医療事務学科2年生の4名全員が参加した。いずれも、就職先として検討している学生もいた。</p>
<b>(2) 成績評価・単位認定等</b>	
<p><b>1) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</b></p> <p>各教科の成績評価・単位認定の基準については、ホームページで公開しているシラバスに明記するとともに、授業でも説明している。進級・卒業判定については、入学時に配布する学生便覧に、教務規程の関連部分を抜粋して掲載している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>成績は、定期試験終了後に個人成績表として学生に手渡しており、保護者には就学状況表と合わせて、前期終了時および年度末に郵送した。</p>
<p><b>2) 各規程に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定をおこなっているか</b></p> <p>上記1)の評価基準をもとに、前期終了後と後期終了後の年2回の成績会議で単位認定している。不合格科目がある学生については、単位認定課題の提出状況により、卒業・進級認定会議において校長が判定する。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>学科は定期試験の評点で評価した。実習については、提出物を複数の採点項目によって客観的に評価し、学生の印象による評価や教員の恣意的な評価は避けている。</p>

**【委員会の意見等】**

委員： インターンシップに参加した学生はその後の就職先へととなっているのか？  
 学校： インターンシップ＝就職先となる学生は少ない。その後の活動継続を促したい。  
 委員： 企業はインターンシップを通して、うちの会社に合うのか見ている。  
 学校： 現在、沢山の求人をいただいているため、学生が企業を選ぶ立場となっていることもあり、冷静に見ているところがある。

4 学習成果・教育成果	自己点検・評価
<b>(1) 就職率</b>	
<p><b>1) 就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善をはかっているか)</b></p> <p>後述する「5 学生支援」により、前年度に引き続いて高い就職率を実現することができた。2年課程については、就職希望者27名中26名(96.2%)が内定、診療情報管理士専攻科と別科である建築研究科は就職を希望する32名全員が内定を得た。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>リモートによる会社説明会や面接試験が定着したが、企業側も学生側も対面での接触を重視している。教員側も柔軟に対応しながら、今後も希望者全員の内定を目指す。</p>
<p><b>2) 学生の就職活動に関する記録がなされているか</b></p> <p>クラス担任が学生に報告書を提出させ、就職課で管理・保管している。報告書は、①会社訪問・説明会報告書、②就職活動連絡票 ③就職試験報告書 ④内定報告書 ⑤インターンシップ・内定者研修報告書 の5種類がある。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>左記の報告書によりクラス担任だけではなく、複数の教員での連携した指導ができた。また次年度以降の就活生の参考資料としても活用している。</p>
<p><b>3) 対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)</b></p> <p>ホームページでは、過去3年間の学科別・男女別の卒業生数に対する就職者数、進学者数、就職先実績を掲載している。パンフレットでは、過去5年間の就職率、就職先実績、業種別割合、大学編入の実績を掲載している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>実績を公表するだけではなく、本校への進学を検討する生徒・保護者、高校の先生に向けての資料になるため、見やすさにも配慮している。</p>
<b>(2) 資格・免許の取得率</b>	
<p><b>1) 資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)</b></p> <p>出席率9割以上の建築研究科の二級建築士試験の合格率は81.2%(全国平均22.3%)、診療情報管理士専攻科の認定試験は在籍6名全員が合格した(全国平均72.8%)。このように、主要な目標資格は全国平均の合格率を上回っている。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>左記の資格以外では、全国平均を下回っているものもあった。資格対策講座の回数を増やしたり、授業内容を見直したりなど、合格率の向上に努めており、結果が出るまで改善を続ける。</p>
<p><b>【委員会の意見等】</b></p> <p>委員： 診療情報管理士の求人はどうか？        学校： 年々増えている。        委員： 進級者と就職者の割合はどうか？        学校： 昨年度は全員進級し、一昨年は、8割が進級し2割が就職した。        委員： 自分自身、管理士資格を持っており、医師事務の仕事をしているが、色んな所で重宝される。        委員： 建築士の合格率が上がっているのは良いことだ。        環境系の断熱性能に関するカリキュラムを盛り込むと良いのでは。        学校： 今後検討したい。</p>	

5 学生支援	自己点検・評価
<b>(1) 就職等進路</b>	
<p><b>1) 就職等に関する支援部署・相談部署(就職担当部門)はあるか</b></p> <p>学生部就職課の担当者がおり、教務部に属するクラスの担任教員と連携して学生の就職活動をサポートしている。学生と保護者には、入学式において学生便覧に掲載されている組織図で周知している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>左記のサポートにより高い就職率を実現できた。今後も、各部が連携して学生をサポートする。</p>
<p><b>2) 企業からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開しているか</b></p> <p>建築関係は272件、医療事務関連は162件の求人票を受け付けた。これらを本校2号館1階の掲示板に掲示するとともに、同じものをファイルに綴って卒業年次のクラスに配置している。更に、求人票を通し番号により管理して、企業名、所在地、業種と募集職種、連絡先、勤務地をデータ化して、検索できるようにしている。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>左記により、学生が求人情報を閲覧しやすいように配慮した。</p>
<b>(2) 学生相談</b>	
<p><b>1) 学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)</b></p> <p>日々の相談窓口はクラス担任が中心となり、学生の就学支援を行っている。また、専門講師による「こころ相談室」を5月より毎週金曜日の午後開設している。家計急変等の経済的な相談窓口として奨学金担当者が奨学金の紹介等の相談を受けている。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>令和5年度は「こころ相談室」の利用者は無し。精神的な不安や悩みを抱えた学生や家計状況の厳しい学生が多い中、さらに利用しやすい環境や方法の検討や体制づくりが必要である。</p>
<b>(3) 学生生活</b>	
<p><b>1) 学費の減免、特待生試験、学校独自の奨学金制度はあるか</b></p> <p>学費(授業料)減免については、指定校推薦入学で5万円免除、診療情報管理士推薦入学で20万円免除、AO入学で8万円免除、家族優遇で10万円免除、大・短・専学卒優遇で10万円免除がある。特待生制度として筆記試験・面接・調査書から選考し、40万・20万・10万・5万円が授業料から免除される。学校独自奨学金については在校生特待制度があり、1年次の成績優秀者から選抜し、2年次に5万円の奨学金を支給している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>指定校推薦入学25名。診療情報管理士推薦入学1名。AO入学36名。家族優遇1名。特待生入学～40万円1名、20万円2名、10万円4名、5万円9名。在校生特待生5名。大・短・専学優遇は対象者無し。</p>
<b>(4) 中途退学への対応</b>	
<p><b>5) 退学者数を公開しているか</b></p> <p>「職業実践専門課程の基本情報」にて各科毎また、退学率も含めHPにて公開している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>令和5年度の退学者は10名。退学率は6.25%。</p>

(5)保証人(保護者)との連携	
<p>1)緊急時の保証人(保護者)等との連絡体制を確保しているか</p> <p>一斉配信メールにて連絡体制を確保している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>令和5年度の保護者の登録は80.1%。令和6年度は新システムに移行するが、保護者の全員の登録が今後の課題である。</p>
<p>2)成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談しているか</p> <p>欠席が5日に達した学生については、クラス担任が保護者へ電話や文書で連絡している。それでも、欠席が増加傾向にある学生は教務次長や校長を交えた面談を行い、必要に応じて保護者を交えた面談を実施している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>精神的に弱い学生や、持病を理由に欠席が多い学生が増えているが、複数の教員できめ細かい対応を行った。</p>
<p><b>【委員会の意見等】</b></p> <p>委員：「こころの相談室」の利用者がいないのはなぜか？  学校：悩みをまず最初に担任に相談するため、そこで解決しているようだ。  委員：退学者の主な理由は何か？  学校：主に進路変更が多い。  委員：課題の提出等でフォローは出来ているのか？  学校：欠席→課題の未提出→赤点をと、年度末の単位認定を提出できず留年し退学する学生もいる。  委員：コロナ禍の3年間は高校を入学した時だったため、オンライン授業だったこともあり、人間関係を上手く作れない子が多く、学校をあきらめていたようだ。(在校生の親)  現在、少人数のクラスで色々とも問題もあるようだが、担任の先生が上手く対応してくれている。  委員：入院中の生徒は、病室でオンライン授業を受けている。コロナ禍でオンラインの授業を取り入れていたのであれば、欠席の学生にも対応したらどうか。  学校：外からみてわからない病気が多くなっているため、教務規定を拡大して対応している。今後、授業の環境づくりも含めていろいろな方法で検討していく必要がある。</p>	

6 教育環境	自己点検・評価
(1)施設・設備等	
<p>1)教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか</p> <p>中長期計画のもとに、毎年の事業計画により整備している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>令和5年度は合同講義室の椅子の入替、令和6年度は職員用のノートパソコンの入れ替え。1号館コンピュータ室のPCの入替は先送りとした。また、令和7年度は1号館エレベーターのリニューアル工事を予定している。</p>
<p>2)学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか</p> <p>清掃を委託している業者による環境衛生検査を毎日実施し、毎月末に報告をうけている。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>令和5年度は特に問題点は無かった。</p>

(2) 防災・安全管理	
<p>1) 定期的に防災訓練を実施しているか</p> <p>「自衛消防訓練計画届出」を札幌市中央消防署に提出し、毎年実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和5年8月25日に一斉メール受信確認と共に実施した。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>特になし</p>	

7 学生の受入れ募集	自己点検・評価
(1) 学生募集活動	
<p>1) 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>全道各地で開催される進学相談会や分野説明会などに参加し高校生を対象に学校の紹介や職業説明を行っている。また、高校訪問を通し進路指導担当教員に対して学校紹介やオープンキャンパスの案内などを行っている。ホームページや各種SNSを随時更新し、最新の学校情報を提供している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>各進学ガイダンスや高校訪問において広報担当の人手が足りない時には教職員応援を得ることができた。LINE、Instagram、X(Twitter)、Facebook、で最新の学校情報やイベントの告知などを行った。</p>
<p>2) 入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか</p> <p>来校されての学校見学や説明を希望される方は随時受付している。また、フリーダイヤル、メール、LINE、それぞれから問い合わせができるようにし、オンライン(ズーム)での個別相談にも対応している。入学希望者に対して入試制度等を説明する入学準備説明会を1回実施した。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>電話やメールよりもLINEを通しての質問等が非常に多い。オンライン個別相談は1名。入学準備説明会はLINEで気軽に質問できるようになった為、1回開催で参加者2名。</p>
<p>3) 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか</p> <p>高校生や保護者、および入学希望の既卒者を対象とした体験入学(オープンキャンパス)を開催している。施設見学、体験実習、入試制度・就職状況説明、進学相談会などを実施。遠方からも参加しやすいように地域に応じた交通費の補助を行っている。また道内各地域から無料送迎バスを運行する企画も取り入れ、実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>通常体験入学を18回、日帰り無料バス体験入学を10回、無料宿泊付きバス体験入学を1回実施した。予定通り合計29回開催した。</p>



<b>(2)入学選考</b>	
<p>1)学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)</p> <p>「学生募集要項」を作成し、各種の入学選考について詳しく明記している。また、入学に必要な学力や、スキル等については学生募集要項の「入学資格」項目内において(1)高等学校・高等専修学校卒業の者及び2024年3月卒業見込の者。(2)高等学校卒業程度認定試験に合格した者及びこれと同等以上の学力を有すると認められた者。(3)大学・短期大学・専門学校卒業(見込)及び社会人と記載、明示している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>入学希望者における要件等に変更がない為、現状を維持したい。</p>
<p>2)社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか</p> <p>現役の高校生以外にも既卒者の方も積極的に受け入れしている。学校案内やホームページ等にも社会人から入学し、卒業就職したケースを紹介している。また、全学科で職業実践専門課程の認定を受けている。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>建築系分野および医事系分野について職業実践専門課程の認定を受けており、社会人に対しても質の高い教育を提供している。</p>
<b>(3)学納金</b>	
<p>1)学校案内等に学費、授業料、学習教材の購入費等が明示されているか。</p> <p>学生募集要項やホームページ内で入学金、各学科の授業料等学費合計額、その他に必要な用具・教科書・行事費等を記載、明示している。また給付型奨学金を利用した場合、区分に応じた入学金や授業料の減免額も記載、明示している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>現状のまま維持していきたい。</p>
<b>【委員会の意見等】</b>	
<p>委員： オープンキャンパス開催の費用が結構かかっているのでは？</p> <p>学校： 体験入学は教職員が担当しており、広報費のほとんどが無料バス代となっている。無料バス(ライセンスアカデミー)は遠方から参加する高校生が日帰りで利用することができる。北海道は広いので、それを利用しないと参加できない。北海道独特の企画である。他校も一緒に企画しており、札幌駅でそれぞれの学校に分かれる。また、学生会館主催で無料で宿泊できる企画もあり、バスの運航費用を抑えている。</p> <p>委員： 地元に戻る学生はいるのか？地方にあるプレカット工場への就職はあるのか？</p> <p>学校： 札幌に残る学生が多く、地方に戻る学生は少なくなっている。高校の先生も戻ってきて欲しいと思っている。親の跡を次ぐ場合もある。</p> <p>委員： 地方は過疎化が増えている。</p> <p>学校： 入学者のほとんどが体験入学に参加しているが、成績不振の学生が退学することが多い。担任もマメに連絡しているが、徐々に途絶える。</p> <p>委員： 入学者は選考しているのか？(退学者が減るのでは)</p> <p>学校： 出願者は全員入学している。国公立の学校以外は少子化のため、選んではいけない状態である。一部の大学では書類選考にしている。「学生に選択してもらっている」を主体とした学校が残っている。その中で、学生に力をつけさせ就職させている。</p> <p>委員： 生徒募集に関しては、SNSの更新等で大変だとは思いますが増えてほしい。</p> <p>委員： 建築が楽しいと思ってほしい。</p>	

8 教育の内部質保証システム	自己点検・評価
<b>(1)教育情報の公開</b>	
<p>1)教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>「職業実践専門課程の基本情報」の他、学校のホームページで</p> <p>(1)学校の概要、目標及び計画  (2)各学科等の教育  (3)教職員  (4)キャリア教育・実践的な職業教育  (5)様々な教育活動・教育環境  (6)学生の生活支援  (7)学生納付金  各項について情報公開している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>5月に更新して学校のホームページ公開している。</p>
<p>2)学校関係者評価結果を公表しているか</p> <p>学校関係者評価委員会終了後、速やかに本校HPに公開している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>遅延なく委員会終了後にHPに公開した。</p>
<p><b>【委員会の意見等】</b></p> <p>特になし</p>	

9 財務	自己点検・評価
<b>(1)監査</b>	
<p>1)私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか</p> <p>毎年5月に法人の業務、法人の財産状況、理事の業務執行状況等の監事(2名)による監査を実施している。監査報告書を作成し、定例理事会評議員会にて監査報告をしている。また、会計士による監査も同日に実施しているが、会計監査報告書の作成は免除されている。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>令和5年度の監査は5月8日に実施し、5月17日の理事評議員会にて監査報告した。</p>
<b>(2)財務情報の公開</b>	
<p>1)財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか</p> <p>平成27年4月に設定の情報公開の基本方針に基づき、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、財産目録、監査報告書をHPに公開している。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>過去3年分を公開している。令和5年度は定例理事評議員会終了後に公開。</p>
<p><b>【委員会の意見等】</b></p> <p>委員：HPには令和2・3年度の基本情報がPDFで掲載されていたが、大丈夫か？  学校：現在は令和5年度のもので掲載されている。</p>	

10 社会貢献・地域貢献	自己点検・評価
<b>(1)社会貢献・地域貢献</b>	
<p><b>1)地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等)の受託を積極的に実施しているか</b></p> <p>独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構からの委託による求職者支援訓練について、「医療事務科(短時間)6か月」と「医療事務科(短時間)3か月」の2講座を受託し、求職者を対象とした職業訓練を実施した。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>6か月の講座は8名が入学し、4名が修了、2名が就職による中途退学、残りの2名が病気療養を理由に中途退学した。3か月の講座については、5名が入学し、全員が修了した。尚、修了者は訓練終了後3か月以内に全員が就職した。</p>
<p><b>2)学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</b></p> <p>札幌市委託事業の障がい者活動支援事業で、施設で製造したパンの販売を学校で行っている。また、文部科学省が主催する道内の中学生を対象とした職場体験「次世代人材職業体験推進事業」と、札幌市教育委員会が主催する「進路探求学習オリエンテーリング事業」による、札幌市内の中学生を対象とした職業体験講座の受け入れを積極的に行った。</p>	<p><b>【点検評価】</b></p> <p>パンの販売については、月1回実施した。「次世代人材職業体験推進事業」については、49校194名の生徒を受け入れた。「進路探求学習オリエンテーリング事業」では、夏休み期間中に2回開催し、25名の生徒と11名の保護者が参加した。</p>
<p><b>【委員会の意見等】</b></p> <p>特になし</p>	